

2次審査表

評価項目		評価点記入欄 (以下の評価基準の配点を記入してください。)	評価点 合計
1	提案金額	点／10点(e)	点 ／100点
2	営業拠点の所在地	点／5点(f)	
3	取組意欲・熱意	点／5点(g)	
4	コミュニケーション能力	点／10点(h)	
5	提案1	点／20点(i)	
	提案2	点／20点(j)	
	提案3	点／20点(k)	
6	設計業務計画	点／10点(l)	

【重要項目順位】

上記、「評価項目の評価点 合計」が同点で複数いる場合、以下に定める重要項目順位の高い項目の点数が高い順に決定する。

評価項目	重要項目順位
5 提案	1位
3 取組意欲・熱意	2位
4 コミュニケーション能力	3位
6 設計業務計画	4位
2 営業拠点の所在地	5位
1 提案金額	6位

【評価基準の配点】

1 提案金額

契約上限額との差が、どの程度下回っているか。	
① 20%以上・・・10点	
② 15%以上・・・8点	
③ 10%以上・・・6点	
④ 5%以上・・・4点	
⑤ 5%未満・・・2点	点(e)

2 営業拠点の所在地

①板橋区内に営業拠点の所在地がある場合は5点	点(f)
②板橋区内に営業拠点の所在地がない場合は0点	

3 取組意欲・熱意

点(g)

＜評価基準＞以下の判断基準を踏まえ評価を行う。

判断基準	評価項目	配点
技術提案書及びプレゼンテーションにより評価を行う。当該業務を実施するうえでの課題や問題点を把握しており、積極的に取組む姿勢のほかに質疑等への柔軟な回答や提案をする姿勢が伺える場合に優位に評価する。	極めて強く感じられる	5
	強く感じられる	4
	普通	3
	あまり感じられない	2
	感じられない	1

4 コミュニケーション能力

点(h)

＜評価基準＞以下の判断基準を踏まえ評価を行う。

判断基準	評価項目	配点
技術提案書及びプレゼンテーションにより評価を行う。説得力のある地域調整用資料の作成や、発注者の意図を理解して設計提案できる能力がある場合に優位に評価する。	極めて良好	10
	良好	8
	普通	6
	やや不十分	4
	不十分	2

5 提案

提案ごとの評価に係る視点は以下による。

提案1 「板橋第六小学校の施設計画」

点(i)

- 視点1) これから必要となる教育内容・教育形態に相応しい施設計画である。
- 視点2) 敷地の特性を踏まえ、周辺環境・周辺地域との調和に配慮された施設計画である。
- 視点3) 学級数が将来的に減少した場合の対応として、他の公共施設との複合化や地域開放エリアの拡大について工夫や配慮がある。
- 視点4) 視点1～3に加えて、防災・地域連携・環境への配慮・生涯学習との繋がりとといった機能や視点について、地域の特色を十分に理解された提案がある。

提案2 「オープンスペースと普通教室のあり方」

点(j)

- 視点1) 創造的かつ多様な学習活動を展開できる学習空間とし、また、将来的な授業展開への対応、教師の授業アイデアを活かすことのできる工夫がなされている。

提案3 「条件の制約や社会状況を踏まえた段階整備計画」

点(k)

視点1) 提案1で提示された施設整備計画を実現するため、「区立板橋第六小学校改築基本構想・基本計画(案)」にある条件及び、工事中の学校運営を踏まえながら、建設コストの縮減や建設工期の短縮に配慮された段階整備計画である。また、公共施設の建設工事入札不調に対する発注方法(E C I方式やD B等)について経験を踏まえた記載がある。

＜評価基準＞以下の判断基準を考慮して提案ごとに評価する。

判断基準	評価項目	配点
提案について、的確性（「区立板橋第六小学校改築基本構想・基本計画(案)」との整合が取れているか）、創造性（既存の方法を改善する新たな提案がなされているか）、実現性（提案内容が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか）を考慮して評価する。	極めて良好	20
	良好	16
	普通	12
	やや不十分	8
	不十分	4

6 設計業務計画書

点(1)

＜評価基準＞以下の判断基準を考慮して提案ごとに評価する。

判断基準	評価項目	配点
特に重視する設計上の配慮事項の把握や設計業務計画の的確性、実現性について総合的に評価する。	極めて高い	10
	高い	8
	普通	6
	やや低い	4
	低い	2